

新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について

1 接種状況（令和4年7月31日現在）

	接種回数※1	接種率 (対人口※2)	備考
1回目	100,169回	80.38%	小児（5～11歳） 1回目：26.65% 2回目：23.47%
2回目	100,130回	80.35%	
3回目	80,364回	64.49%	
4回目	18,306回	14.69%	60歳以上の接種率：52.73%

※1 小金井市に住民登録のある方の全国での接種回数を集計

※2 人口は、令和4年1月1日時点

2 ワクチン接種促進策について

(1) **予約なし接種**

大規模接種会場（旧西友）で7月13日（水）から8月7日（日）まで毎週水曜・木曜・土曜・日曜に実施

実績（令和4年8月1日時点）

実施日	使用 ワクチン	接種 合計	接種内訳			
			1回目	2回目	3回目	4回目
7月13日（水）	モデルナ	8人	—	—	2人	6人
7月14日（木）	モデルナ	5人	—	—	2人	3人
7月16日（土）	モデルナ	13人	—	—	7人	6人
7月17日（日）	ファイザー	28人	4人	0人	17人	7人
7月20日（水）	ファイザー	18人	0人	0人	11人	7人
7月21日（木）	ファイザー	16人	0人	0人	8人	8人
7月23日（土）	モデルナ	16人	—	—	7人	9人
7月24日（日）	ファイザー	16人	0人	0人	9人	7人
7月27日（水）	ファイザー	62人	1人	1人	45人	15人
7月28日（木）	ファイザー	100人	0人	0人	78人	22人
7月30日（土）	モデルナ	128人	—	—	88人	40人
7月31日（日）	ファイザー	144人	3人	0人	96人	45人
合計		554人	8人	1人	370人	175人

（モデルナ170人 ファイザー384人）

(2) **3回目未接種者への接種勧奨**

16,945人（令和4年1月末までに2回目接種済み）への勧奨通知を令和4年7月21日（木）に発送済み。

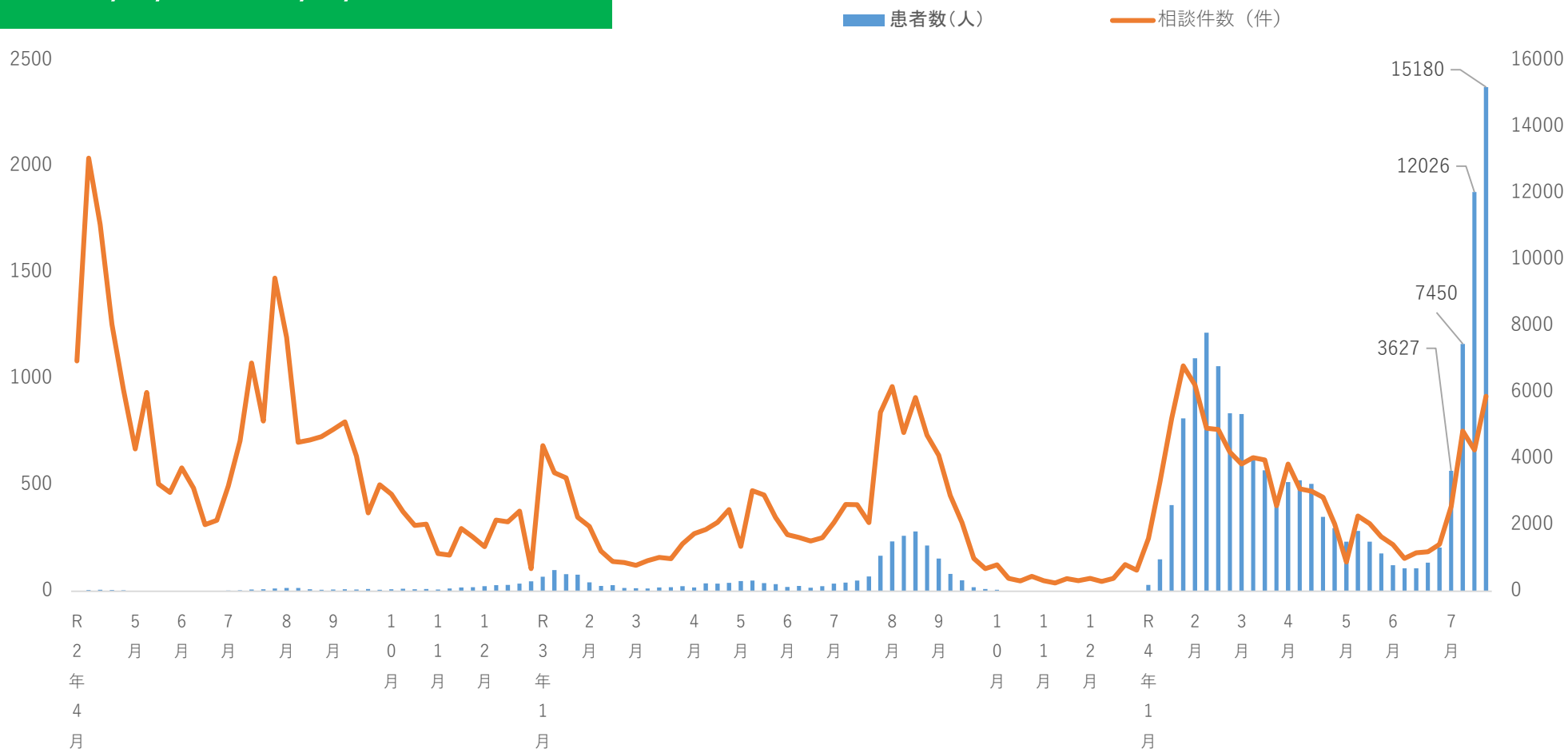
新型コロナウイルス感染症対策 に係る関係者連絡会

(令和4年8月1日 定例会)

新型コロナウイルス感染症 発生届・相談件数 (R2/4/1~R4/7/31 週計)

令和4年8月1日 東京都多摩府中保健所

取扱注意



武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	累計
19298	24421	32332	31656	15117	10714	133538

保健所より

◆感染急拡大に伴う患者対応、健康観察状況

発生届受理

携帯電話番号記載がない場合、一旦、医療機関に照会させていただいています

SMS送付

届出受理の翌日、全患者に同じ内容を送付（My HER-SYSのURLとIDを含む）
50才未満についてはご自身による体調管理と不安時の‘うちさぽ東京’相談を、
50才以上はHER-SYSへの症状登録を推奨

ハイリスク者架電

発生届記載内容を基に、妊婦、糖尿病等の基礎疾患あり、65才以上 などハイ
リスク者を抽出し、保健所若しくはFUCから架電 ※FUCもHER-SYS利用

My HER-SYS活用
で健康観察

アラート表示のあった患者に対し、必要に応じて状況確認
体調不良時の相談専用携帯電話も設置（保健所開庁時間帯のみ その他はFUC）
※約2割の患者が医療機関による健康観察

療養終了

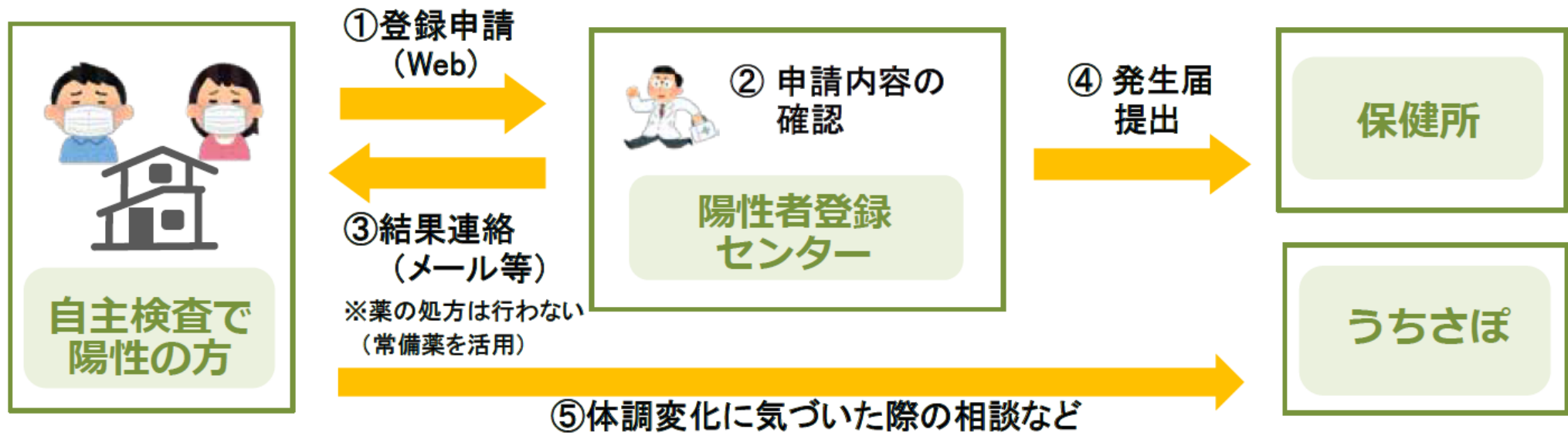
最初に送付するSMSに、発生届に基づく療養終了予定日を記載
患者の状態（発熱の継続、無症状だったが検査後発症等）により必要な場合の
み、療養終了日を変更

保健所より

陽性者登録センターの設置について

発熱外来等の負荷軽減及び迅速な陽性判定が可能となる体制を構築

- 自宅等での自主検査で陽性が判明した方が、陽性者登録センターに申請
- 同センターが発生届を提出し、うちさぽ東京が健康観察をサポート
- 8月3日開始、当初は20代（重症化リスクなし）から開始し、順次拡大



8月3日より開設予定

保健所より

◆うちさぼ東京での食料品支援対象等の変更

対象：経済的事情や親族等による支援を受けられないなど、自身で食料の調達が困難な方

規模：1世帯1セット（家族で複数の陽性者がいても）

◆宿泊療養施設の入所調整について

感染が急拡大により、以下のような方を優先して入所いただいています。

- ・コロナの症状がある方で、50歳以上の方や心疾患、呼吸器疾患又は糖尿病等、重症化リスクの高い基礎疾患のある方（宿泊療養施設では対応困難な慢性肺疾患、心血管疾患を有する方、内服等でコントロール不能な糖尿病の方等は除きます。）
- ・同居の家族に重症化リスクの高い基礎疾患のある方や妊婦がいて、早期に隔離が必要な方

※65歳以上の方で上記条件に当てはまり、宿泊療養を希望する方には、保健所に相談するようご案内ください

保健所より

◆酸素・医療提供ステーションの受入れについて

酸素ステーションの医師が以下を踏まえ受入れ可否を総合的に判断

- ・重症度：軽症・中等症Ⅰ (SpO₂ 94以上)まで ※中等症Ⅱ (SpO₂ 93以下)は対象外
- ・介護度：要介護1まで 普段の介護度だけでなく入所時点の介護度を考慮

〈対応可能なこと〉

酸素投与 中和抗体薬治療（ゼビュディ） 補液（ラクテック）
解熱鎮痛薬の点滴（アセリオ）、内服薬の処方

〈抗原定性検査の実施について〉

受入れ対象者に該当し、確定例での発生届がない患者について、
酸素ステーションで抗原定性検査を実施し、陽性の場合には発生届を提出

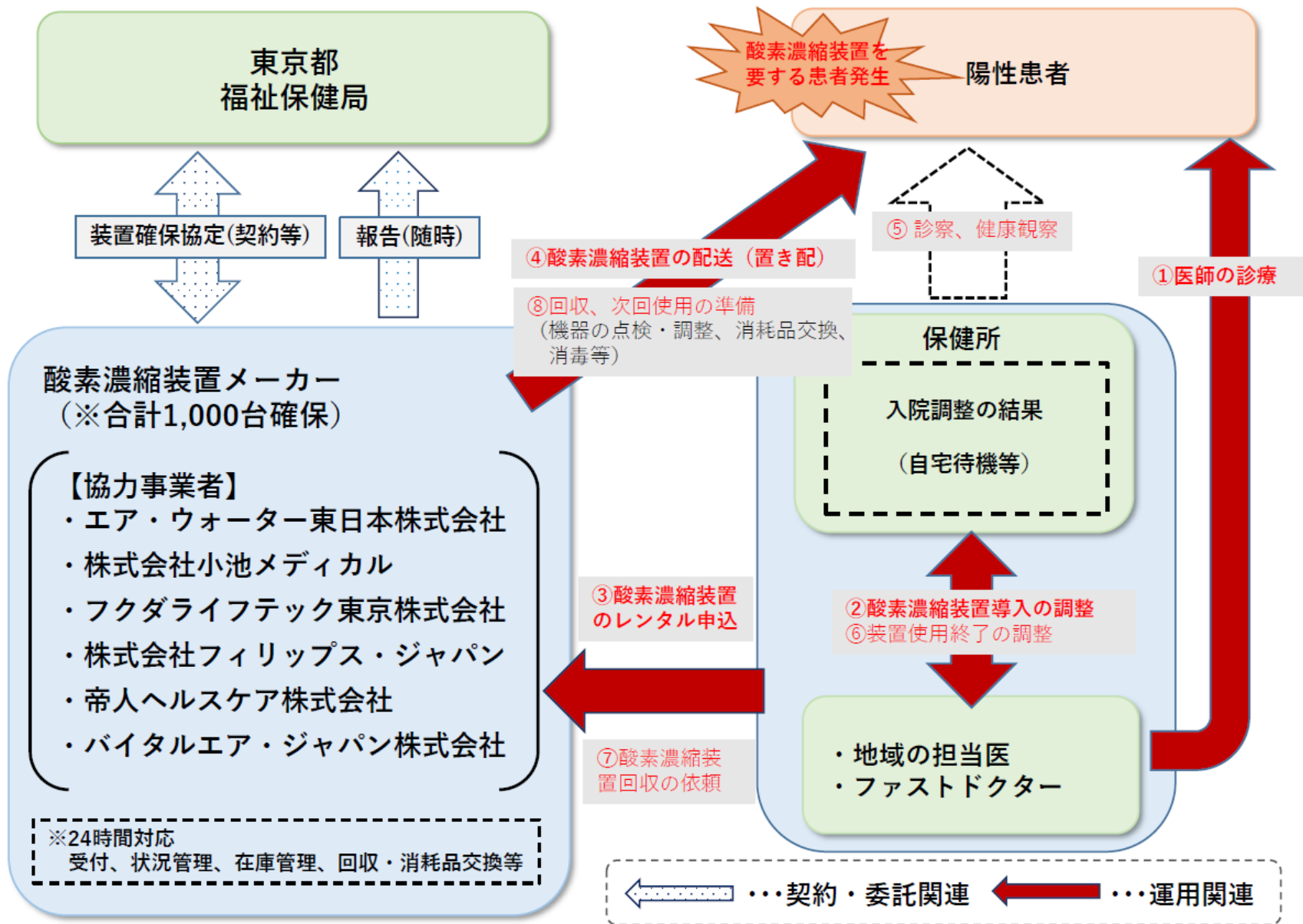
保健所より

◆酸素濃縮装置の運用スキーム

①必要な患者がいる場合、医療機関から事業者へ連絡

②医療機関で指示カードを記載し、事業者へメールで送付 (PW: sanso)

③事業者が、指定された患者住所の玄関先に配送



保健所より

◆新規療養施設の稼働について

① 高齢者等医療支援型施設（世田谷玉川） 102床 7月21日～

対象：軽症、中等症Ⅰ

特色：酸素投与、中和抗体薬投与可 リハビリテーション実施
施設入所者や入院先で症状改善した方を受入れ、療養期間終了まで対応
都の入院調整本部で入所者決定するが、入院非該当

② 感染拡大時療養施設（高松※立川市） 130床 7月27日～

対象：軽症（リスク因子なし）か無症状で、同居者との隔離が必要な方

特色：共有スペースあり
患者本人が申し込み可

保健所より

◆濃厚接触者の待機期間、濃厚接触者の特定に関する方針変更

- ① 濃厚接触者の待機期間 7日間→5日間に短縮
2・3日目に自費の抗原定性検査で陰性の場合、3日目から待機解除可能
ただし、濃厚接触者に該当する場合には、7日間経過までは、健康観察や感染リスクの高い場所の利用・会食等を避ける
- ② 保育所、小中学校等に関しては、保健所による濃厚接触者特定せず
保育所、幼稚園、小中学校、特別支援学校、学童クラブ等に関しては、施設において以下対応する
 - ・施設内で接触のあった者は感染リスクの高い行動を控えるよう周知
 - ・感染対策を行わずに飲食を共にした者等は5日間の外出自粛や自主検査実施
 - ・症状がある場合の速やかな医療機関受診を推奨

保健所より

◆発熱相談センター 医療機関案内専用ダイヤルの増設について

相談窓口	電話番号	備考
発熱相談センター 医療機関案内専用ダイヤル (事務職員対応)	03-6732-8864 03-6630-3710 03-6636-8900 ※青字が増設	症状に関する相談にも対応する番号 (看護師・保健師対応) は変更なし 03-6258-5780 03-5320-4592

◆発生届のHER-SYS入力について

- ・ 診療・検査医療機関になっていなくても、HER-SYS ID発行可能です。
ID発行申請は、保健所ホームページでご案内しています
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/shingata_corona/corona_iryu.html
- ・引き続き、未活用の医療機関に働きかけを行います

保健所より（コロナ以外）

◆サル痘（疑い例）に関する情報提供及び検体検査への協力依頼

【対象】 以下①②③の全てを満たすもの

- ①説明困難（水痘、風疹、梅毒、伝染性軟属腫、アレルギー反応、その他の急性発疹等を呈する疾患によるものとして説明が困難であることを言う）な急性発疹を呈している
ただし、これらの疾患が検査で否定されていることは必須でない
- ②次の一つ以上の症状を呈している
発熱（38.5℃以上）/頭痛/背中の痛み/重度の脱力感/リンパ節腫脹/筋肉痛
- ③次のいずれかに該当する
 - ・発症21日以内にサル痘常在国やサル痘症例が報告されている国に滞在歴があった。
 - ・発症21日以内にサル痘常在国やサル痘症例が報告されている国に滞在歴がある者と接触（レベル中以上）があった。
 - ・発症21日以内にサル痘患者又は①及び②を満たす者との接触（レベル中以上）があった
 - ・初声用21日以内に複数または不特定の者と性的接触があった。
 - ・臨床的にサル痘を疑うに足るとして主治医が判断をした。

◆小児の原因不明の重篤な急性肝炎に関する情報提供への協力依頼 先月と変更点ないため、内容の掲載省略